

サンガードシステム EP



施工動画はコチラ

有機酸、無機酸の作用を受けるコンクリート構造物の防食塗料

サンガード工法の上塗り材サンユコートL-273はエポキシ樹脂とポリアミンをベースとした無溶剤形エポキシ樹脂塗料です。硬化後の塗膜は有機酸、無機酸等の耐薬品性に優れ、有機酸、無機酸の作用を受けるコンクリート構造物の防食塗料として使用できます。

■特徴

- 作業性:一度に数百ミクロンの厚付けが可能で、ガラスクロスが不要です。
- 接着性:専用の素地調整、プライマーを用いることで躯体との密着性に優れます。
- 耐酸性:耐有機酸性、硫酸性に優れ、ビルピット施設等の有機酸の発生するコンクリート水槽に使用出来ます。
- 安全性:有機溶剤を含まないので、引火燃焼及び中毒の危険がありません。

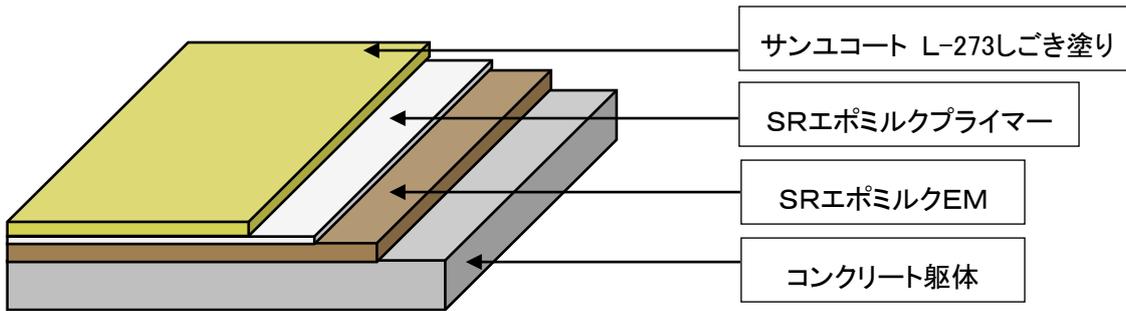
■性状

品名	サンユコート L-273		試験方法
項目	主剤	硬化剤	
主成分	エポキシ樹脂	ポリアミン	
外観	灰色ペースト状	褐色液状	目視
配合比(重量比)	4/1		主剤/硬化剤
硬化物比重	1.3		JIS K 7112

■下水向け設計仕様

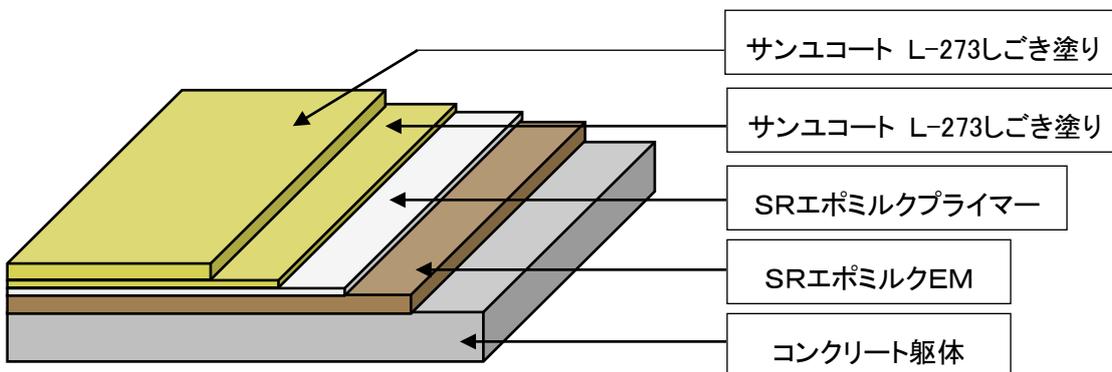
A種設計仕様

工 程	仕様材料	使用量 (kg/m ²)	施工方法
素地調整	SRエポミルクEM	1.0	金ゴテ等
プライマー	SRエポミルクプライマー	0.15	ローラー、ハケ等
しごき塗り	サンユコートL-273しごき塗り	0.4	金ゴテ等
設計厚	0.2mm以上(硬化後厚さ)		



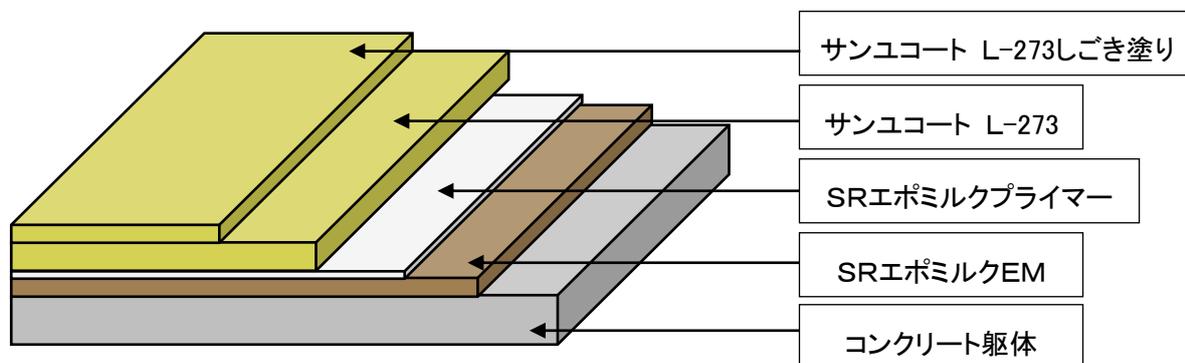
B種設計仕様

工 程	仕様材料	使用量 (kg/m ²)	施工方法
素地調整	SRエポミルクEM	1.0	金ゴテ等
プライマー	SRエポミルクプライマー	0.15	ローラー、ハケ等
しごき塗り①	サンユコートL-273しごき塗り	0.2	金ゴテ等
しごき塗り②	サンユコートL-273しごき塗り	0.4	金ゴテ等
設計厚	0.35mm以上(硬化後厚さ)		



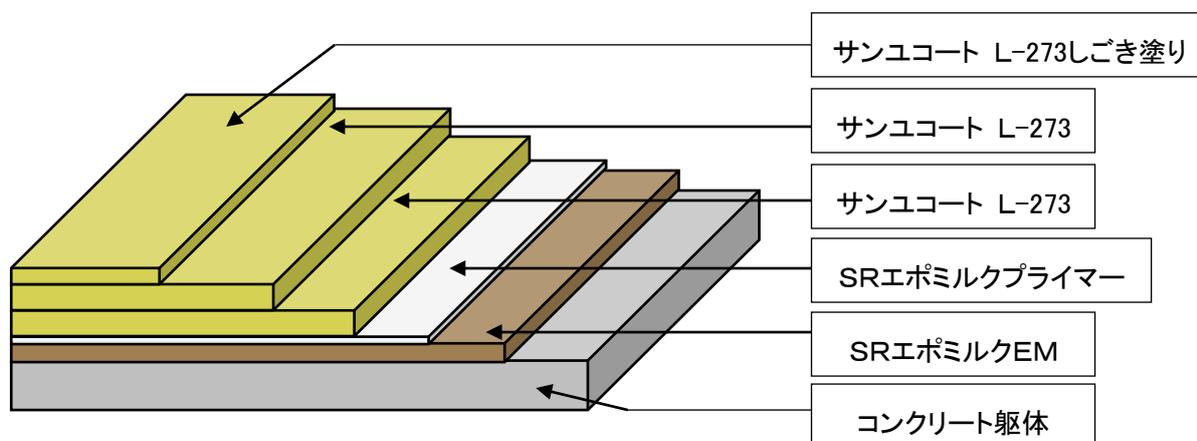
C種設計仕様

工程	仕様材料	使用量 (kg/m ²)	施工方法
素地調整	SRエポミルクEM	1.0	金ゴテ等
プライマー	SRエポミルクプライマー	0.15	ローラー、ハケ等
上塗り	サンユコートL-273	0.8	金ゴテ等
しごき塗り	サンユコートL-273しごき塗り	0.4	金ゴテ等
設計厚	0.7mm以上(硬化後厚さ)		



D種設計仕様

工程	仕様材料	使用量 (kg/m ²)	施工方法
素地調整	SRエポミルクEM	1.0	金ゴテ等
プライマー	SRエポミルクプライマー	0.15	ローラー、ハケ等
上塗り①	サンユコートL-273	0.8	金ゴテ等
上塗り②	サンユコートL-273	0.8	金ゴテ等
しごき塗り	サンユコートL-273しごき塗り	0.4	金ゴテ等
設計厚	1.3mm以上(硬化後厚さ)		



有機酸、無機酸の作用を受けるコンクリート構造物用防食塗料の暴露試験

○ バイオマス調整槽環境水測定結果（2007年6月26日実施）

項目		測定結果
PH	(pH)	4. 8(13℃)
陰イオン界面活性剤	(mg/l)	0. 60
非イオン界面活性剤	(mg/l)	0. 005未満
浸食性遊離炭酸	(mg/l)	1未満
乳酸	(mg/l)	16000
酢酸	(mg/l)	5400
プロピオン酸	(mg/l)	910
イソ酪酸	(mg/l)	120
N-酪酸	(mg/l)	1200
イソ-吉草酸	(mg/l)	190
N-吉草酸	(mg/l)	440
硫化水素濃度	(ppm)	150
二酸化炭素濃度	(ppm)	25000

○ バイオマス調整槽における暴露試験結果

調整槽に8ヶ月間浸漬	
	
下団C種適合エポキシ塗料	L-273タイプエポキシ塗料
側面に劣化確認	外観劣化確認出来ず
曲げ強さ保持率 46%	曲げ強さ保持率 87%

※70×150×20モルタルに全面被覆

- 注意事項
- 作業場所は十分に換気し、保護具等を着用して下さい。
 - 作業服、工具に付着した樹脂は速やかに除去して下さい。
 - 体質によってはカブれることがありますので、保護具等を着用し、皮膚に付着した場合には直ちに、石鹼水で洗い流して下さい。
 - 皮膚障害、呼吸障害が見られるときは、必要に応じて医師に診察を受けて下さい。
 - 使用後は容器の蓋を締めて冷暗所に保管して下さい。
 - 硬化物は太陽光などにより変色しますが、特性には影響ございません。



本カタログの記載事項は弊社の試験設備による特定条件下で得られた測定値の代表例です。その他取扱いについては製品安全性データシート（MSDS）をご参照下さい。

2018年6月 現在